

資料3 鴨川水系流域治水プロジェクト  
更新（案）

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、鴨川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた平成10年7月洪水と同規模の洪水による浸水被害の解消を図る。



- 鴨川では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
  - 【短期】魚津市街地での冠水、浸水被害を未然に防ぐため下水道の雨水幹線整備を実施する。
  - 【中期】流下能力不足解消のため、鴨川放水路の整備を実施する。
  - 【中長期】放水路と雨水幹線の連携を図り、より円滑な雨水の流下を促す。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	鴨川放水路の整備	富山県	[Red arrow spanning Short, Mid, and Long-term]		
	下水道の雨水幹線の整備	魚津市	[Red arrow spanning Short, Mid, and Long-term]		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組（防災指針策定など）	魚津市	[Yellow arrow spanning Short, Mid, and Long-term]		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知	富山県 魚津市	[Green arrow spanning Short, Mid, and Long-term]		
	水位計・監視カメラの活用	富山県	[Green arrow spanning Short, Mid, and Long-term]		

暫定供用中、排水状況によっては放水路と雨水幹線を接続し、より円滑な雨水の流下を促す

立地適正化計画への防災指針の記載と取組など

必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など

【事業費（R6年度以降の残事業費）】

- 河川対策
  - 全体事業費 12.2億円※
  - 鴨川放水路の整備 等
- 下水道対策
  - 下水道の雨水幹線の整備

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進

(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	河川改修(放水路整備)		
事業・施策の名称	河川改修(放水路整備)		
実施場所	鴨川		

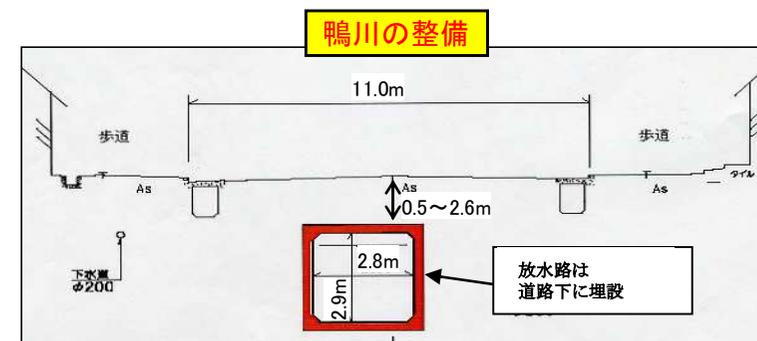
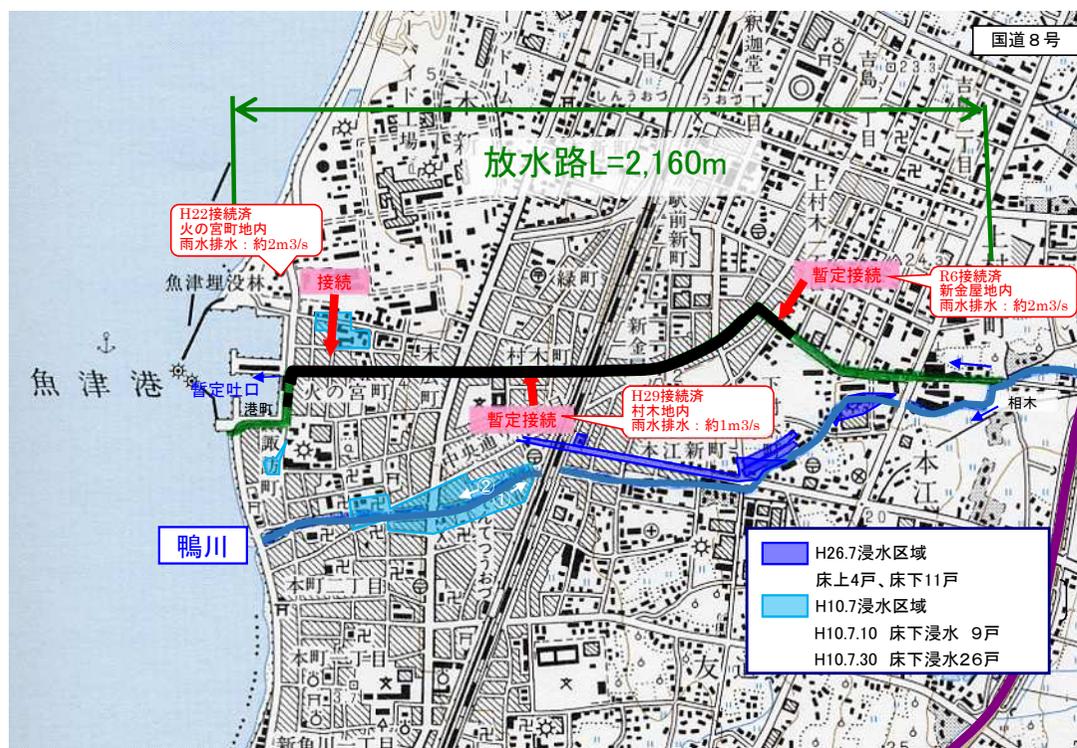
【対策概要】

鴨川は、魚津市の市街地を流れ、富山湾に注ぐ延長3.9kmの二級河川である。本川は川幅が狭く、流下能力が小さいため、たびたび浸水被害が発生している。平成13年度から放水路を整備しており、さらに市が管理する雨水幹線を暫定接続する等により浸水被害の軽減を図っている。

【事業内容】

事業期間：平成13年度～

内容：計画延長2,160m（放水路整備）



平常時



H10.7出水時

(様式: 取組事例)

区分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	魚津市
メニュー名	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
事業・施策の名称	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
実施場所	鴨川流域		

【対策概要】

「安全なまちづくり」に向け、立地適正化計画への防災指針の記載と取組みなどを行う



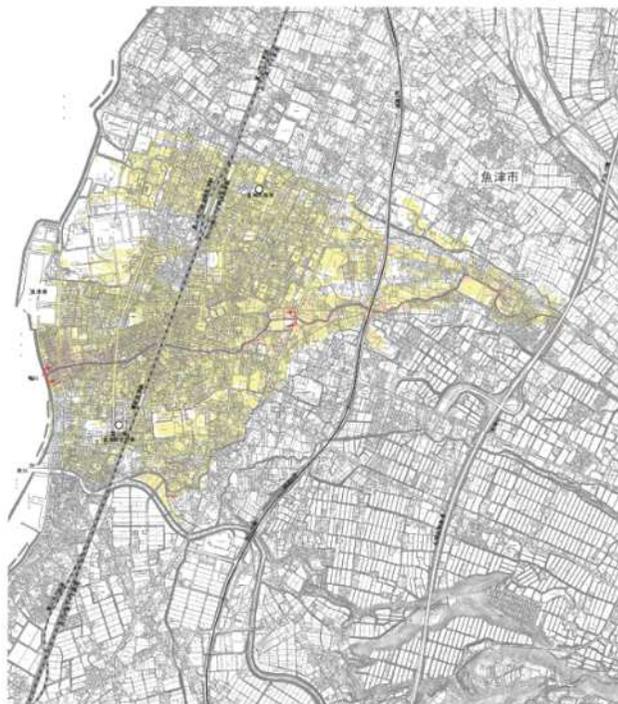
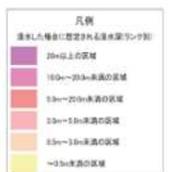
(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、魚津市
メニュー名	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
事業・施策の名称	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
実施場所	鴨川流域		

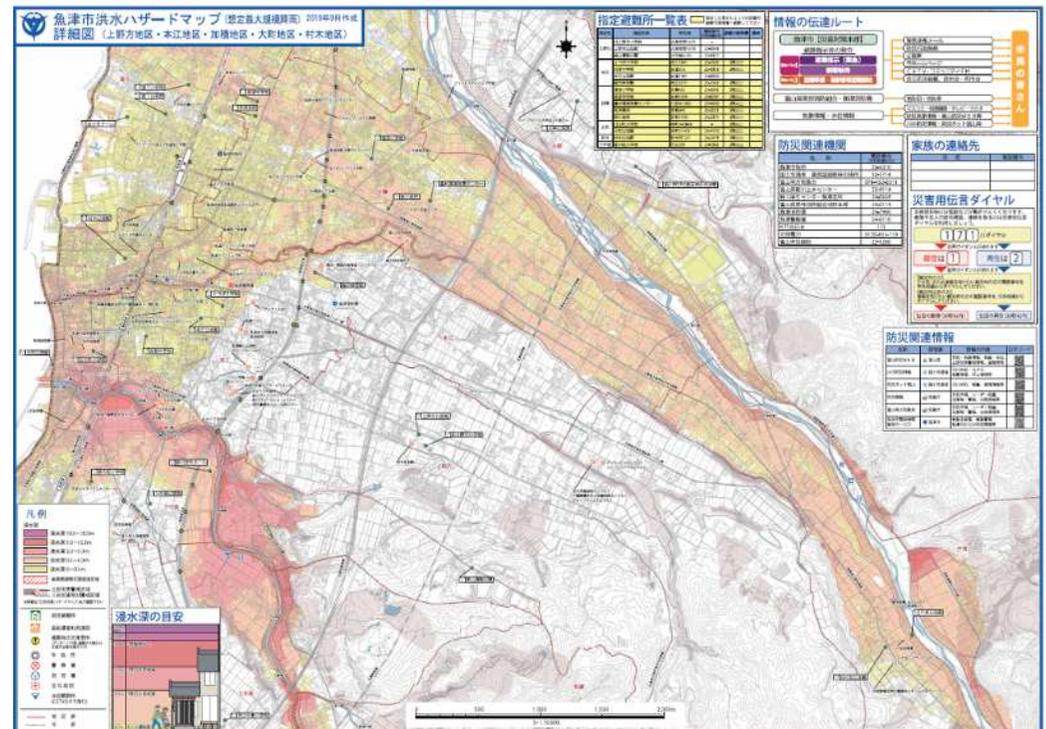
令和元年6月14日に、県内全ての水位周知河川(41河川)について、想定しうる最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の公表が完了しました。

それに基づき、増水し、堤防からあふれたり、堤防が壊れたりした場合の浸水情報や、避難に関する情報をわかりやすく提供するために、「洪水ハザードマップ」を作成しています。

鴨川水系鴨川  
洪水浸水想定区域図  
(想定最大規模)



鴨川浸水想定図(想定最大規模)



魚津市洪水ハザードマップ(想定最大規模)

(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	河川状況等ライブカメラ情報		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位観測所等		

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、河川監視カメラの画像や県管理の水位周知河川等の水位状況をインターネットを通じて一般公開している。

【実施概要】

- ・ 公開開始日:平成30年6月～【R4.3月リニューアル、R5.3月改修(危機管理型水位計のリアルタイムデータが閲覧可)、R6.6月改修(ダム貯水位の確認可※外部リンク、10分更新)】
- ・ 公開の内容:河川海岸カメラ画像情報(静止画:5分更新)、県管理河川の水位情報等
- ・ 公開HP :「富山県河川海岸カメラ・水位情報」 <https://kawa.pref.toyama.jp/camera>



河川監視カメラ設置状況



県HP「富山県河川海岸カメラ・水位情報」

(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	「とやま河川(かわ)メール」配信サービス		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位、ダム貯水水位情報		

とやま河川(かわ)メールは、富山県が管理する河川の水位やダムの貯水水位が基準値を超えた場合に、登録された方へスマートフォンやパソコン、携帯電話にメールを配信するサービスです。洪水時における避難行動や水防団の水防活動などにご活用いただけます。

- 【実施概要】
- ・ 配信開始日:令和6年6月21日
  - ・ 配信の内容:受け取りたい河川(46観測所)の水位(4段階)や、ダム(16箇所)の貯水水位(3段階)の各基準値(選択可)を超えた場合にメールを配信

# かわ とやま河川メール

富山県が管理する河川の水位やダムの貯水水位の情報をメールでお知らせします

受け取りたい河川の水位やダムの貯水水位が登録した基準値を超えた場合に、スマートフォンやパソコン、携帯電話にメールが配信されます。

事前に受け取りたい観測所やダムの情報を登録(〇〇観測所の〇〇水位)

自動的にメールを配信

自動的にメールを配信

登録ユーザー

河川が増水し水位の基準値を超えると

ダムの貯水水位が上昇し、基準値を超えると

## 配信内容

水位観測所やダム、基準値を選ぶことができます。

配信項目	基準値
河川水位 (46箇所)	・ 氾濫危険水位 (レベル4)
	・ 避難判断水位 (レベル3)
	・ 氾濫注意水位 (レベル2)
	・ 水防団待機水位 (レベル1)
ダム貯水位 (16ダム)	洪水調節容量における貯留割合が
	・ 100%の貯水位
	・ 80%の貯水位 ・ 50%の貯水位

【参考】各基準値の内容

河川水位

▼ 氾濫危険水位 いつ氾濫してもおかしくない水位

▼ 避難判断水位 市町村が避難情報を発表する目安

▼ 氾濫注意水位 水防団が出勤する目安

▼ 水防団待機水位 水防団が活動準備に入る目安

ダム貯水位

▼ 100%の貯水位 洪水時の最高水位

▼ 80%の貯水位 緊急放流を開始する目安

▼ 50%の貯水位

洪水調節容量

【避難判断水位到達】和田川本江

富山県 toyama-pref@gov.jp 発信

以下の観測所で避難判断水位に達しました。

水系名 : 庄川  
河川名 : 和田川  
観測所名 : 本江  
レベル : Lv.3 避難判断水位  
観測値 : 3.70 m  
基準値 : 氾濫危険水位 4.30 m  
避難判断水位 3.70 m  
氾濫注意水位 3.50 m  
水防団待機水位 3.00 m

